



日本獣医師会学会関係情報



日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

----- 日本獣医師会学会からのお知らせ -----

お知らせ

日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程等の一部改正について

『日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程』及び『日本獣医師会獣医学術学会誌投稿の手引き』について、動物実験の取扱い等について規定を明示するとともに、一部の記載について内容を具体的に記載する改正を行った。

この改正については、令和5年4月17日に開催された令和4年度日本獣医師会獣医学術学会誌編集委員会で決定され、同年5月1日から施行する。

記

別記

日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程及び投稿の手引きの新旧対照表

1 日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程

改正条文	現行条文
<p>日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程</p> <p>(略)</p> <p>(投稿資格及び条件)</p> <p>第2条 筆頭著者となることのできる者は、公益社団法人日本獣医師会定款施行細則第7条で定める日本獣医師会の会員構成獣医師又は公益社団法人日本獣医師会定款第8条第2号で定める賛助会員(個人に</p>	<p>日本獣医師会獣医学術学会誌投稿規程</p> <p>(略)</p> <p>(投稿資格及び条件)</p> <p>第2条 筆頭著者となることのできる者は、公益社団法人日本獣医師会定款施行細則第7条で定める日本獣医師会の会員構成獣医師又は公益社団法人日本獣医師会定款第8条第2号で定める賛助会員(個人に</p>

改正条文	現行条文
<p>限る。)とするが、これ以外の者が筆頭著者となるにあたっては、原則として別に定める投稿料を納付するものとする。</p>	<p>限る。)とするが、これ以外の者が筆頭著者となるにあたっては、原則として別に定める投稿料を納付するものとする。</p>
<p>2 投稿の条件は、次のとおりとする。</p>	<p>2 投稿の条件は、次のとおりとする。</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>(2) 投稿原稿の根拠とする症例又は動物実験における動物の取り扱い、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日法律第105号）に基づき、動物愛護の趣旨に則し、適正な対応がなされており、動物を用いた研究は、次の条件を満たしていなければならない。</p>	<p>(2) 投稿原稿の根拠とする症例又は動物実験における動物の取り扱い、動物の愛護及び管理に関する法律（昭和48年10月1日法律第105号）に基づき、動物愛護の趣旨に則し、適正な対応がなされており、動物を用いた研究は、次の条件を満たしていなければならない。</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>ニ <u>所属研究機関の動物実験ガイドライン（指針）等</u>に沿って動物に苦痛を与えないように実験を行っている（または動物実験委員会の許可を得て実験を行っている）こと、<u>所属研究機関等が動物実験ガイドライン等を持たない場合にあっても、日本学術会議による「動物実験の適正な実施に向けたガイドライン」及び「動物の愛護及び管理に関する法律」第7条に規定する適正な飼養及び保管がなされ、同法第41条に規定する飼育下における動物研究の国際原則である「3Rの原則」に従っていること。</u></p>	
<p>ホ なお、<u>投稿論文の内容に生命倫理の妥当性を審査する必要があると判断した際は日本獣医師会学会運営規程第7条第1項第4号に基づき設置する獣医学術学会誌編集委員会（以下「委員会」という。）内に置かれた生命倫理小委員会を開催し検討することがある。</u></p>	
<p>(原稿の受付日及び採用日)</p>	<p>(原稿の受付日及び採用日)</p>
<p>第3条 投稿原稿は、事務局に到着した日を受付日とし、<u>委員会</u>が採択を決定した日を採用日とする。</p>	<p>第3条 投稿原稿は、事務局に到着した日を受付日とし、<u>日本獣医師会学会運営規程第7条第1項第4号に基づき設置する獣医学術学会誌編集委員会（以下「委員会」という。）</u>が採択を決定した日を採用日とする。</p>
<p>(原稿審査の手順等)</p>	<p>(原稿審査の手順等)</p>
<p>第4条 投稿原稿の審査及び採否に係る事項は、次の手順により行う。</p>	<p>第4条 投稿原稿の審査及び採否に係る事項は、次の手順により行う。</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>(3) 担当編集委員は、<u>内容に応じて複数の</u>専門家に原稿の審査を依頼することができる。</p>	<p>(3) 担当編集委員は、内容に応じて専門家に原稿の審査を依頼することができる。</p>

改正条文	現行条文
<p>(4) 担当編集委員は、審査の結果、新規性、有用性、信頼性、論文の完成度等をもって本誌への掲載が適正と判断した原稿について採択を、本誌への掲載が適正ではないと判断した原稿について不採択を副委員長に進言する。ただし、審査の過程で著者へ修正を求め、再審査を行うことがある。</p> <p>(5) 副委員長は、担当編集委員から採択または不採択を進言された原稿について確認し、それが妥当と判断される場合には委員長に決定を仰ぐ。委員長は、副委員長による採択または不採択に関する意見を受け、採択または不採択を決定する。ただし、審査の過程で著者へ修正を求め、再審査を行うことがある。</p> <p>(6) 採択された原稿は原則として採択順に掲載し、不採用とされた原稿は、速やかに著者へ通知される。</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>附 則 (令和5年4月17日・日本獣医師会獣医学術学会誌編集委員会一部改正)</p> <p>1 この改正は、令和5年5月1日から施行する。</p>	<p>(4) 担当編集委員は、審査の結果、新規性、有用性、信頼性、論文の完成度等をもって本誌への掲載が適正と判断した原稿について採択する。ただし、審査の過程で著者へ修正を求め、再審査を行うことがある。</p> <p>(5) 採択された原稿は原則として採用順に掲載し、不採用とされた原稿は委員長及び副委員長の確認を経て、速やかに著者へ通知される。</p>

2 日本獣医師会獣医学術学会誌投稿の手引き

改正条文	現行条文
<p>日本獣医師会獣医学術学会誌投稿の手引き</p> <p style="text-align: right;">令和5年5月1日 日本獣医師会</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>3 投稿要領関連</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(2) 原稿の体裁</p> <p>原稿は、A4判縦で余白を上下左右25mm、文字色は黒、字体は日本語はMS明朝、英語はCentury、字の大きさは12ポイント、行間はダブルスペースとし、横書きで欄外下部中央にページ及び左欄外に行番号を付す。</p> <p>なお、修正原稿については、修正箇所は青色の文字で記載する（見え消しや注釈機能等の変更履歴機能は用いない）。</p>	<p>日本獣医師会獣医学術学会誌投稿の手引き</p> <p style="text-align: right;">令和4年1月1日 日本獣医師会</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>3 投稿要領関連</p> <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>(2) 原稿の体裁</p> <p>原稿は、A4判縦で余白を上下左右25mm、文字色は黒、字体は日本語はMS明朝、英語はCentury、字の大きさは12ポイント、行間はダブルスペースとし、横書きで欄外下部中央にページ及び左欄外に行番号を付す。</p> <p>なお、修正原稿については、修正箇所は青色の文字で記載する（見え消しや注釈機能等は見消機能や注釈機能等は用いない）。</p>

改正条文	現行条文
<p>(略)</p> <p>4 執筆要領関連（原著及び短報）</p> <p>(略)</p> <p>(1) 用語：</p> <p>(略)</p> <p>ウ 本文中に一般名等で記載した薬品，機器等の商品（製品）名及び社名等は，一般名称の直後に括弧内で記載することができる（商品（製品）名，社名，都道府県名の順／例：ニチジュウワクチン，日獣製薬(株)，東京）。<u>ただし，本文中に既出の商品（製品）については，2回目以降は社名，都道府県名は省略してもよい。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>4 執筆要領関連（原著及び短報）</p> <p>(略)</p> <p>(1) 用語：</p> <p>(略)</p> <p>ウ 本文中に一般名等で記載した薬品，機器等の商品（製品）名及び社名等は，一般名称の直後に括弧内で記載することができる（商品（製品）名，社名，都道府県名の順／例：ニチジュウワクチン，日獣製薬(株)，東京）。</p> <p>(略)</p>